

60年以上の技術革新

1951年の創立以来、ワゴは電気・電子工学の分野で、先駆的な接続システムの技術革新を重ねてきました。最初のワゴ端子台のアイデアが生まれたのは1951年、そして同じ年のハノーバー博覧会には、初のスプリングクランプ接続技術による端子台を出展しました。精密に設計・製造されるワゴ端子台は、接続が素速く簡単なだけでなく、接触信頼性が組立者の熟練度にほとんど左右されないため安全性も高まります。今日、ワゴはスプリングクランプ接続技術のスペシャリストとして、オートメーション分野のコンポーネントも提供しています。1977年は、ケージクランプ®のサクセスストーリーが幕開けとなった年です。“振動に強い、素早い、メンテナンスの要らない接続”それがワゴのイノベティブコネクションです。

ワゴ製品の高い信頼性は多くの機器・機械・設備の信頼性と安全性の向上に役立っています。ワゴ製品群は耐環境性が要求されるあらゆる場所で、さまざまな産業分野のオートメーションシステムで、幅広くご使用いただいています。

1951
最初のWAGO
スプリング クランプ



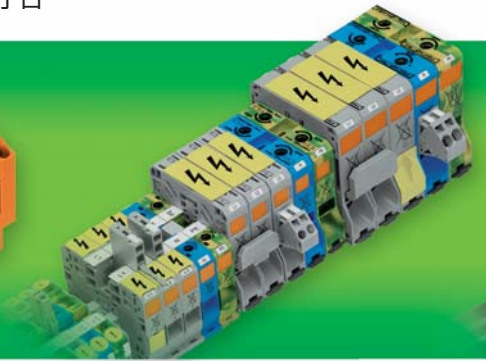
1974
WAGO PUSH WIRE®
コネクタ



1977
CAGE CLAMP®
レールマウント端子台



1998
POWER CAGE CLAMP®



端子台・コネクタ

オートメーション機器

1985
レールマウント端子台用
プラグインモジュール



1995
WAGO-I/O-SYSTEM
モジュール式リモートI/O
IP20





2001

WINSTA®
コネクタシステム



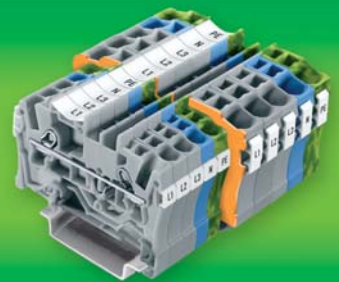
2004

WF シリーズ
ワンタッチコネクタ



2006

TOPJOB®S
レールマウント端子台



2005

WAGO SPEEDWAY 767
防塵・防滴リモート I/O
IP67



2006

WAGO JUMPFLEX®
信号変換器とリレーモジュール



2008

TO-PASS®
無線ユニット

